

## 臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。  
研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

＜研究課題名＞2型肝腎症候群の予測因子の検討

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 消化器肝臓内科科（研究責任者）松本直樹

＜研究期間＞

承認日 ～ 西暦 2020年 12月 31日

＜研究の目的と意義＞

肝硬変の患者さんが長生きできるかどうかについて、腎機能が悪い方は予後が悪いと言われています。肝硬変における慢性腎臓病を2型肝腎症候群と言いますが、どのような方がなりやすいのかは知られていません。腎機能悪化を予防できれば肝硬変の予後を改善する可能性があります。

本研究の目的はどのような方が2型肝腎症候群になりやすいのか、明らかにすることです。

＜対象となる患者さん＞

西暦 2008年 1月 1日～西暦 2017年 2月 28日の期間に肝硬変で診療を受けた方

＜研究の方法＞

初回受診時からの血液検査結果を参照し、経過中に腎機能悪化したかどうかを調べ、悪化した方とそうでなかった方が、元々どのように違うのかを解析します。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

消化器肝臓内科 氏名：松本 直樹

電話：03-3972-8111 内線：(医局)2423 (PHS)8095